（別紙4（2））

事業所名　グループホームのどかⅠ・Ⅱ

作成日：　令和5年8月18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	●各利用者の“個性”と“その人らしさ”の理解が不足しており、生活援助に生かし切れていない。	●各利用者の“個性”や“その人らしさ”を具体的な言葉で表現できるようになる。 ●毎日の日課の中で各利用者の“個性”を発揮できる場面を作ることができるようになる。	①各職員が担当利用者の「その人シート(生活歴・既往歴・趣味等の基本情報)」を記入する。必要時、改めて家族に細かい情報を質問する。 ②各職員が担当利用者の「その人らしさシート(現在の本人の意向・こうありたいと思っている等)」を記入する。 ③各職員が「その人シート」「その人らしさシート」を参考にして「気づきシート(日常生活の中での利用者のニーズとその対応等)」を記入する。 ④各職員と計画作成担当者が上記シートを基にして「認知症対応型共同生活介護計画書」を作成する。⑤ 職員全員で実践する。 ⑥各職員と計画作成担当者が、各利用者がその人らしく生活できているか「モニタリング」する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。